

# 吉野作造記念館だより

〈編集・発行〉特定非営利活動法人 古川学人

## 読売・吉野作造賞受賞者講演会 ロゴ・マーク作品表彰式 2004年11月20日(土)に開催

古田博司氏(筑波大学大学院教授)は、著書『東アジア・イデオロギーを超えて』で「二〇〇四年読売・吉野作造賞」を受賞しました。この賞は、二〇〇〇年度より読売論壇賞と吉野作造賞(中央公論社主催)を一本化し、新たな賞としてスタートしました。

当館では、古田氏を招いて、「東アジアと日本の未来」を演題に講演会を開催しました。近隣国である中国・韓国・北朝鮮の話題を中心に講演を行い、会場を訪れた方々は興味深く聞き入っていました。

講演会要約については二頁をご覧下さい。また、講演会の内容を講演録として作成しましたので、ご希望の方は当館までご連絡下さい。



2004年読売・吉野作造賞を受賞した古田博司氏



ロゴ・マーク採用作品に選ばれた鈴木寛氏

当館では十周年を記念し、ロゴ・マーク作品を募集しました。審査の結果、応募総数一八三点より鈴木寛氏(宮城大学事業構想学部デザイン学科)の作品が受賞し、表彰式を行いました。

採用された作品は吉野作造の精神である「人」を大切にする』意味をモチーフに作成したものです。「人」という文字を囲むように、丸い点を三方所に配置し、線と点で「和・輪」を表現したデザインです。

また、採用作品は広報活動に使用するほか、販売品としての活用も検討しています。これから当館のロゴ・マークとして情報発信して行きます。沢山のご応募を頂き、心より感謝申し上げます。有難うございました。